

123. デジタル(DX)時代の事例から学ぶビジネス価値提案

1. 研修要領

・ITSS	2-3
・研修実施日	2022年7月12日(火)~2022年7月13日(水)
・研修実施時間・日数	9:30 ~ 16:30 (6時間/日)
・研修会場	福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室
・研修受講料	55,000円 (税別・テキスト代込み)

2. 対象者

デジタル時代にイノベーションを期待されるリーダー・これから関わるメンバ
(DXを推進する部門においてリーダー、マネージャの役割を担っている、または将来プロジェクトを担う方、DX時代の提案を担う方)

3. カリキュラムの概要

デジタル時代において、プロジェクト以前にビジネスモデルから変革することが求められる時代に、顧客(ユーザ部門)とともに、新しいビジネスモデルを構想することをITのエンジニアたちにも求められています。
働き方改革が、なかなか「改善」の域から出られないように、本質的な課題に向き合う必要があります。
そうしたビジネスモデルの価値を考えることから、ビジネスの本質に迫る発想と、見える化するスキルを習得するコースです。
PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を12時間支給します。また、本講座はPMIの「新CCRプログラム」に対応しています。
教育サブ・カテゴリー: technical 2.0 Leadership 4.0 Business and Strategic 6.0

4. カリキュラムの詳細

2日間(12時間)

科目		時間	科目の内容
1 日 目	1. デジタルトランスフォーメーション(DX)時代の価値を考える	4.0h	◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル ◆顧客視点からビジネス上の価値を考える ◆事例からビジネスモデルを考える(デジタル事例の紹介)
	2. ステークホルダと価値の分析	2.0h	[ステークホルダの価値分析] <実践ワークショップ: カスタマジャーニーマップ 作成(ワークショップ)>
2 日 目	3. 超上流工程の考え方(案件・プロジェクト企画)	3.0h	◆ポートフォリオ・プログラム・プロジェクト ◆プロダクトマネジメント ◆デザイン思考的発想 ~未知へのチャレンジプロジェクト ◆IT組織としての方向性・データからの価値創出
	4. ビジネスモデルの見える化	3.0h	◆ビジネスモデルの分析 ◆複数テーマの分析(優先度、変更管理) ◆エンタープライズアナリシス <実践ワークショップ: [価値の分析]ビジネスモデル・キャンバス バリュープロポジション・キャンバス作成>
計		12.0Hr	

※最低開催人数は6名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)の時代に必要とされる「顧客に寄り添うビジネス価値提案」ができるようになる
- ・イノベーションを起こすプロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素を含んだプランが作成できるようになる